

会

報

社団法人 日本病理学会
〒113-0033
東京都文京区本郷 2-40-9
ニュー赤門ビル 4F
TEL: 03-5684-6886
FAX: 03-5684-6936
E-mail jsp-admin@umin.ac.jp
http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第 255 号

平成 21 年 (2009 年) 4 月刊

1. 病理専門医資格更新者氏名

第 1 回 認定 64 名

更新期間 平成 21 年 (2009 年) 4 月 1 日から 5 年間

認定番号	氏名	認定番号	氏名
14	山口 和克	130	本多 光弥
15	鈴木 庸之	131	齋藤 武郎
16	中田 勝次	133	菊地 浩吉
18	長尾 孝一	152	桂 栄孝
19	牛込新一郎	153	浜家 一雄
24	櫻井 勇	164	笠原 正男
27	菊池 昌弘	169	有輪 六朗
37	亀谷 徹	170	春日 孟
44	高橋 徹	182	青木 重久
46	遠城寺宗知	183	野坂 謙二
49	橋本 重夫	191	佐々木正道
58	並木 恒夫	198	山田 喬
67	高柳 尹立	199	鈴木 実
73	宇多 弘次	204	松本 正朗
91	指方 輝正	205	福田 純也
94	里館 良一	219	石河 利隆
100	松山 睦司	222	飯田 萬一
103	植松 邦夫	231	堤 啓
104	鈴木 恒道	232	田口 孝爾
105	今村 正克	233	松尾 武
109	桜井 幹己	236	栗林 宣雄
110	武川 昭男	239	入 久巳
111	和田 昭	240	笹野 伸昭
112	山邊 博彦	241	清水 興一
113	廣田 映五	255	松尾 英一
114	荒井 茂	256	白澤健二郎
122	森 道夫	261	沢田 眞治

264	羽山 忠良	292	菊地由生子
265	森 武三郎	303	岡崎 悦夫
269	本間 学	304	嶋田 裕之
278	岡田 聰	307	京極 方久
279	川村 貞夫	309	石原 好弘

第 6 回 (第 1 回試験) 認定 24 名

更新期間 平成 21 年 (2009 年) 4 月 1 日から 5 年間

認定番号	氏名	認定番号	氏名
1144	中峯 寛和	1162	提嶋 眞人
1146	重松 和人	1163	佐多徹太郎
1147	兼子 耕	1164	小野 謙三
1151	立野 正敏	1165	向井 清
1154	黒田 誠	1166	志賀 淳治
1155	森永正二郎	1168	四方 伸明
1156	鈴木 正章	1169	中村 敬夫
1157	岡田 基	1170	佐野 壽昭
1158	蛇澤 晶	1171	山田 英二
1159	福屋 崇	1172	五島 岸子
1160	廣川 満良	1173	下山 則彦
1161	小林 寛	1174	伊藤 雄二

第 11 回 (第 6 回試験) 認定 46 名

更新期間 平成 21 年 (2009 年) 4 月 1 日から 5 年間

認定番号	氏名	認定番号	氏名
1390	永山 剛久	1399	上田 善道
1391	早川 清順	1400	横井 豊治
1393	松野 吉宏	1401	大林 千穂
1394	堀内 啓	1403	田中 亨
1396	植草 利公	1404	相田 真介
1397	仁木 利郎	1405	蔵野 良一
1398	齋藤 勝彦	1406	米満 伸久

日本病理剖検輯報への新規登載の希望がございましたら、6月15日までに事務局宛ご連絡ください。日本病理学会病理専門医研修認定施設および研修登録施設の認可には、登載されていることが条件となっております。

社団法人日本病理学会事務局 TEL: 03-5684-6886 FAX: 03-5684-6936
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

1409	青木 一郎	1427	安倍 邦子	1743	牧 和夫	1748	森 良雄
1410	千葉 諭	1428	鈴木 雅子	1745	田代 和弘	1749	梅津 哉
1411	深津 俊明	1430	中島 豊	1746	飯原久仁子	1750	賀集 一平
1412	今北 正美	1431	佐藤 敏美	1747	田中 祐吉	1751	長谷川 剛
1413	石井 英昭	1432	杉原 洋行				
1414	伊藤 秀明	1433	高橋 学				
1415	香川 典子	1434	辻村 俊				
1416	小島 勝	1435	有馬 良一				
1418	本告 匡	1436	石原 明				
1419	長田 憲和	1437	岩井 泰博				
1421	藤原 恵	1438	三浦 弘資				
1422	井村 穰二	1439	菅間 博				
1423	小山 敏雄	1440	佐々木恵子				
1424	大野 順弘	1441	定平 吉都				
1425	渋谷 宏行	1442	杉谷 雅彦				
1426	菅 三知雄	1445	沢辺 元司				

第16回(第11回試験) 認定 62名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

1683	綾田 昌弘	1713	明石 巧
1684	物部 泰昌	1714	矢澤 卓也
1685	高川 竜子	1715	堀口 尚
1687	立山 義朗	1716	松本 美幸
1688	後藤 敏	1717	木佐貫 篤
1690	池田 健	1718	佐々木素子
1691	小澤 享史	1720	横山 宗伯
1692	村上 一郎	1721	安水 良知
1693	矢野 博久	1723	中村 直哉
1694	有広 光司	1724	森 正也
1695	廣島 健三	1725	白濱 浩
1696	龜山 香織	1726	野元 三治
1697	笠井 謙次	1727	杉田 敦郎
1698	伊丹真紀子	1728	渡邊 一男
1699	国村 利明	1729	杉野 隆
1700	八木橋法登	1730	高橋 啓
1701	足立 靖	1731	井関 充及
1702	今野 暁男	1732	小山田ゆみ子
1703	中村 宗夫	1733	石川由起雄
1704	泉 美貴	1734	村上 知之
1705	根本 哲生	1735	桂 奏
1706	加藤 優子	1736	南川 哲寛
1707	望月 衛	1738	前田 環
1708	柏原 賢治	1739	八尾 隆史
1710	岸田由起子	1740	戸田 修二
1711	新井 一守	1741	北島 信一
1712	岩田 純	1742	小川久美子

第21回(第16回試験) 認定 65名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

2020	中山 崇	2054	伊藤利江子
2021	前島 新史	2055	大荷 澄江
2022	島松 一秀	2056	福澤 龍二
2023	弓場 吉哲	2057	下条 久志
2024	覚野 綾子	2058	鹿島 健司
2025	坂田 慶太	2059	大谷 方子
2026	北岡 光彦	2060	畠山 金太
2027	大久保貴子	2061	藤原 正親
2028	真砂 園真	2063	徳差 良彦
2029	保坂 典子	2064	宇於崎 宏
2031	原田 智子	2065	高田 明生
2032	久力 権	2067	北澤 理子
2033	西山 泰由	2068	大屋 正文
2034	坂下 直実	2069	山野 剛
2035	崎田 健一	2070	宮城 洋平
2036	飯島 美砂	2071	二口 充
2037	山内 道子	2072	飛岡 弘敏
2038	加藤 誠也	2073	風間 暁男
2039	岡田 夢	2074	安倍 雅人
2040	江澤 英史	2075	内藤 慎二
2041	佐藤勇一郎	2076	塩澤 哲
2042	桜井 孝規	2077	榊澤 容子
2043	小海 康夫	2078	小池 淳樹
2044	中山 吉福	2079	平野 博嗣
2045	藤田 昌幸	2081	宮田 和幸
2046	笹栗 毅和	2082	原田 祐治
2047	坂元 和宏	2083	倉園 普子
2048	渡邊 千尋	2084	田中 正光
2049	瀬戸口美保子	2085	秋山 隆
2050	白川 敦子	2086	干川 晶弘
2051	矢持 淑子	2087	鰐淵 英機
2052	今村 好章	2088	谷岡 書彦
2053	若狭 朋子		

第26回(第21回試験) 認定 71名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

2371	波多野 弁	2373	山口 倫
2372	伊藤しげみ	2374	マリア メルニエイ

2375	桜井 礼	2411	樋野 陽子
2376	阿部 佳子	2412	河崎 秀陽
2377	江口 香	2413	中村 光利
2378	大月 寛郎	2414	高屋敷典生
2379	入江 理恵	2415	二之宮謙次郎
2380	前田 永子	2416	三橋 智子
2381	奥野 知子	2417	高橋恵美子
2382	兵頭 隆史	2418	神戸美千代
2383	久野 敏	2419	石津 明洋
2384	松山 篤二	2420	松山 高明
2385	田代 敬	2421	神谷 誠
2386	大森 昌子	2422	伊藤 栄作
2387	吉田 牧子	2423	榎本 泰典
2388	潮見 隆之	2424	横内 幸
2390	前田 一郎	2425	弘中 貢
2391	下山田博明	2426	石川 雅士
2393	土井 玲子	2427	小川 史洋
2394	山崎 文朗	2428	中島 広聖
2395	斉藤 仁昭	2430	秋山 裕
2396	小松 正代	2431	秋田 英貴
2397	上野 万里	2433	西村 ゆう
2398	柳本 邦雄	2434	唐 小燕
2399	本間 琢	2435	新井 義文
2400	白瀬 智之	2436	池田 善彦
2401	小田中美恵子	2437	串田 吉生
2402	安井 寛	2438	塩見 達志
2403	藤ヶ崎純子	2440	長濱 清隆
2404	山本 尚	2441	鳥越 俊彦
2405	佐久間裕司	2442	斉藤 光次
2406	尾崎 敬	2443	清水辰一郎
2407	松林 純	2444	小川 高史
2408	杜 ぶん林	2445	玉井 千里
2409	川井 久美	2446	川崎 朋範
2410	西山 憲一		

第5回 認定 2名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から4年間

認定番号 氏名

1012 川口 隆憲 1111 古賀 誠

第8回(第3回試験) 認定 1名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から2年間

認定番号 氏名

1244 内間 久隆

第9回(第4回試験) 認定 1名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から3年間

認定番号 氏名

1285 中村 卓郎

第13回(第8回試験) 認定 1名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から2年間

認定番号 氏名

1513 赤池 康

第20回(第15回試験) 認定 1名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から4年間

認定番号 氏名

2009 塚 正彦

第25回(第20回試験) 認定 1名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から4年間

認定番号 氏名

2307 下山 英

2. 口腔病理専門医資格更新者氏名**第1回 認定 4名**

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

5 片桐 正隆 18 二階 宏昌
17 齋藤 武郎 20 田中 昭男**第6回(第1回試験) 認定 2名**

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

79 辻内 俊文 81 安彦 善裕

第11回(第6回試験) 認定 5名

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

94 長谷川博雅 97 入江 太朗
95 伊藤 由美 99 八重樫 弘
96 大内 知之**第16回(第11回試験) 認定 5名**

更新期間 平成21年(2009年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

117 富永 和也 120 齋藤 隆明
118 久山 佳代 121 藤原美恵子
119 沖村 明

第10回（第5回試験）認定 1名

更新期間 平成21年（2009年）4月1日から4年間

認定番号 氏名

88 小野寺 健

3. 「死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル」について

厚生労働省より、標記マニュアルおよび「ICDのABC」を臨床研修医に配付しているとのことで、参考として送付されてきました。マニュアルにつきましては下記のホームページをご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/manual/index.html>

4. 常任理事会報告（平成21年1月・2月・3月）

○第7回（平成21年1月9日（金））

1. 「前立腺癌小線源療法後1年以内死亡剖検について」マニュアルに対する問い合わせがあったので、剖検・病理技術委員会委員長の谷山先生により詳しい説明を作成してもらい、ホームページに掲載することとした。
2. 100周年記念事業については、佐々木毅学術評議員に事業事務局の副事務局長を依頼した。また、記念式典準備委員会委員長には岡田理事、記念事業選定委員長には根本理事があたることになった。100周年記念事業発起人会を京都での総会時に開催する。
3. 新公益法人移行については、ワーキンググループ4名と弁護士とで、1月20日に勉強会を開催することになっている。
4. Pathology Internationalのオンライン化については、オーナーシップの問題や、バックナンバーの取扱いについて更に検討し、2月の理事会にて説明することとした。
5. 平成22年度の診療報酬改定に関する要望案について、保険委員会稲山委員長より資料の提出を受けた。
6. 病理専門医部会と全国大学病理部連絡会議がひとつの会議として開催できないかとの案については、議題の違いから、従来通り別々に開催することとした。
7. 剖件数の不足から、病理専門医受験時の必要剖件数（現行50体）の見直しを検討することとした。また、総会時の病理診断講習会に「病理解剖」を取り入れてもらう要望することとした。
8. 大菌事務局長より定年の2年延長の申し入れがあり、了承した。これに関連して、本年9月ごろには事務局員を1名増やすこととした。

○第8回（平成21年2月20日（金））

1. 新医師臨床研修見直しについて、2月5日に厚生労働省田原克志室長と面談した（長村理事長、田村浩一運営委員）。それに関連して病理専門医の受験資格である研修期間について、病理専門医制度運営委員会で検討してもらうこととした。
2. 平成22年度診療報酬改定に向けて、社会保険委員会稲山嘉明委員長より報告を受けた。重点項目は、病理診断科の毎回算定、迅速診断を包括から外すであるが、委員会で詳細を検討し、厚生労働省医療課に要望する予定である。これまで、OSNA法、EGFRの免疫染色が保険収載された。
3. 「病理診断の流れ」について会員からの意見が数件あったので、これには長村理事長が回答することとした。
4. 病理画像のブラッシュアップについては、教育委員会覚道委員長より報告があった。3月20日に第一回のブラッシュアップ委員会が兵庫医大で行われる。
5. 平成21年度技術講習会についておよび病理学会カンファレンスについて、開催概要が研究推進委員長および世話人から報告があった。
第9回病理技術講習会
病理に役立つ細胞マーカー
平成21年11月18日
モデレーター 青笹克之 横崎 宏 森井英一
第6回日本病理学会カンファレンス
平成21年7月31日、8月1日
つくば国際会議場 世話人 加藤光保
6. 妊娠婦死亡剖検マニュアル（案）の検討について、大阪府立母子保健医療センターの中山雅弘病理部長より、病理学会の意見諮問があったので、剖検・病理技術委員会谷山清己委員長に諮ることとした。
7. 新公益法人に関するWGと弁護士との勉強会を1月20日に行った。第2回を2月25日に行う。
8. 100周年記念事業実行委員会の組織を決定した。発起人会を5月の総会時に開催することとした（5月3日朝）。企画事業選定・実施委員会が2月23日に開催される。
9. Pathology Internationalのオンライン化については、オンラインオンリー化の開始時期等につき、岡田理事より2月24日の理事会で提案することとした。
10. 受験時の必要解剖体数の変更および、剖検セミナーの開催については、病理専門医制度運営委員会にて検討してもらうこととした。
11. 技師の適正配置数について、病理学会で検討して欲しいとの会員の意見があるが、施設によって事情が異なるので、統一見解を出すことは難しいと回答

することとした。

12. 剖検ネットワークの構築について支部委員会で検討してもらうこととした。

○第9回（平成21年3月25日（水））

1. DPCにおける病理診断の取扱いについて、厚生労働省DPC班の松田班長と面談した（3月23日 長村理事長、根本理事、稲山社会保険委員長、佐々木毅委員）。
2. 教育委員会コア画像ブラッシュアップ委員会（3月21日）について、覚道教育委員会委員長より活動内容について報告を受けた。今後の活動について、長村理事長より依頼することとした。
3. 病理検体の帰属の話について、平成17年病理学会見解は今でも、変更がないことを確認した。
4. 死体解剖資格について、「病理解剖」は報告書を書ける人（医師・歯科医師）に与えるべきであると、厚生労働省に提案すべく折衝中である。
5. 100周年記念事業については、事業計画案を事業の財務委員会に諮問した後、発起人に5月3日の発起人会の案内とともに送付することとした。また、98回総会時にはポスター・チラシを掲示・配付して、会員の意識向上につとめることとした。
6. 公益認定法人への移行については、申請書に公益性について記入するため、勉強会の委員で事業内容の分担しているところである。
7. 国際交流委員会では、98回総会時に英国よりシニア1名ジュニア2名を招聘しており経費負担等について検討した。
8. Pathology International のオンラインオンリー化については、理事会での承認もあるので、オーナーシップ（50% 50%）や、2010年からオンリー化を始めることを総会にて決議を取ることとした。その際、会費値引き案についても、概算を示すこととした。
9. 臨床研究、学会発表、論文投稿に際しての利益相反に関する規定作成については、倫理委員会および編集委員会に検討を依頼することとした。
10. 第28回医学会総会（2011年）のプログラムで、臨床細胞学会との共同シンポジウムについては、臨床細胞学会とすりあわせて、医学会総会へ提案することとした。
11. 平成22年度診療報酬改定については、社会保険委員会が、4月10日の内保連の締切りに向けて要望書等を作成中である。
12. 来年の細胞診講習会については、黒田病理専門医制度運営委員長が検討することとした。

5. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

- 千葉 胤孝 名誉会員（平成18年11月18日ご逝去）
泉 春暁 名誉会員（平成20年11月1日ご逝去）

お知らせ

1. 第26回（平成21年度）持田記念学術賞受賞候補者の推薦等の募集について

- (1) 第26回（平成21年度）持田記念学術賞受賞候補者の推薦募集

申込み締切り：平成21年7月31日

- (2) 第26回（平成21年度）留学補助金交付対象者の募集
申込み締切り：平成21年6月19日

- (3) 第27回（平成21年度）研究助成金交付対象者の募集
申込み締切り：平成21年6月19日

(1)(2)(3)とも

連絡先：(財)持田記念医学薬学振興財団

〒160-0003 東京都新宿区本塩町7-6

四谷ワイズビル

TEL：03-3357-1282 FAX：03-3357-1264

E-mail：zaidan@mochida.co.jp

2. 黒住医学研究振興財団第17回（平成21年度）研究助成金の募集について

申込み締切り：平成21年6月30日

連絡先：(財)黒住医学研究振興財団 事務局

〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9

山口ビル 栄研化学（株）内

TEL：03-5846-3504 FAX：03-5846-3514

E-mail：info@kmf.or.jp

3. ファイザーヘルスリサーチ振興財団平成21年度研究助成募集について

応募締め切り：平成21年7月10日（金 消印有効）

連絡先：〒151-8589

東京都渋谷区代々木3-22-7

新宿文化クイントビル

(財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団事務局

TEL：03-5309-6712 FAX：03-5309-9882

E-mail：hr.zaidan@pfizer.com

4. 2010年(平成22年)～2011年(平成23年)藤原セミナー開催の募集について

申込み締切り:平成21年7月31日

連絡先:(財)藤原科学財団

〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-12

TEL: 03-3561-7736 FAX: 03-3561-7860

5. 第7回浜名湖国際セミナー「神経病理学の進展とスライドセミナー」について

会期:2009年11月7日(土)・11月8日(日)

会場:浜松市地域情報センター

申込み締切り:2009年9月末(定員150名)

参加申し込み先:聖隷浜松病院 経営企画室

担当 佐々木

〒430-8558 浜松市住吉2-12-12

TEL: 053-474-2232 FAX: 053-471-6050

URL <http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/>

E-mail: hm-hamak@sis.seirei.or.jp

オーガナイザー:聖隷浜松病院病理科 小林 寛

日本医学会だより

JAMS News

2009年5月 No.41
日本医学会

◆第76回日本医学会定例評議員会

高久会長から「日本医学会は現在、基礎、社会、臨床の3つの部会に分かれて活動している。特に臨床に関しては、専門医の問題、医療安全調査委員会の問題とか、臨床を取り巻く問題が数多くあるので、臨床部会のなかの運営委員会で活動している」と挨拶された。

その後、平成20年度年次報告と平成21年度の事業計画の説明があった。また平成20年度の加盟は、日本レーザー医学会、日本臨床腫瘍学会の2学会が承認された。

◆第28回日本医学会総会

第28回日本医学会総会は、平成23年4月8日～10日、矢崎義雄会頭、小川秀興・開原成允・鈴木聰男各副会頭、永井良三準備委員長の下、「いのちと地球の未来をひらく医学・医療—理解・信頼そして発展—」をテーマに東京で開催される。

学術講演は、平成23年4月8日(金)～10日(日)、東京国際フォーラム他周辺施設で開催される。セッションテーマは、基礎領域・臨床領域・社会領域・コメディカル領域の4つに大別して検討している。博覧会・学術展示は「わかろう医学 つくろう！健康 Expo2011」をテーマに4月2日(土)～10日(日)、東京国際展示場(東京ビッグサイト)を中心に開催される。市民、総会参加者をあわせて35万人の参加を想定している。また、総会のロゴマークを決定し、ホームページ(<http://www.isoukai2011.jp/>)を開設。

◆第2回日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) ならびにシンポジウム

本会議は、日本医学会分科会が発行している雑誌の編集者を対象とする会議で、WHO 西太平洋地域事務局、アジア太平洋医学雑誌編集者会議、医学雑誌編集者国際委員会等と関連を深める活動を具体的に進めるものである。

第2回のJAMJEのシンポジウムのテーマは、「Publish or Perish」、開催日時：平成21年7月17日(金)13:00～16:00、開催場所：日本医師会館小講堂。

講演は次のとおり、

1. 日本の医学雑誌の現状と業績評価の在り方/高久史磨(日本医学会長)、
2. インパクトファクターの功罪/山崎茂明(愛知淑徳大学文学部図書館情報学科)、
3. 多重出版(duplicate publication)について/津谷喜一郎(東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学)、
4. 出版倫理の教育/北村 聖(東京大学医学教育国際協力研究センター)、
5. 日本医学会分科会機関誌の編集の現状についてのアンケート調査報告/北川正路(東京慈恵会医科大学学術情報センター)。

◆日本医学会臨床部会運営委員会

各分科会で、いままで個別に扱われてきた医学・医療の社会的な問題を、横断的に集約し、臨床部会会議に持ち上げることを目的に発足した委員会で、10の基本領域学会と2つの sub-specialty 学会により、委員構成されている。

運営委員会の下部に、専門医制度に関する作業部会、診療関連死に関する作業部会、公益法

人に関する作業部会を開設し、各作業部会で行われた検討事項は、運営委員会に報告され、必要に応じて、臨床部会会議を年1回開催している。議事録等は、本会のホームページ (<http://jams.med.or.jp/>) に載せているので、ご覧いただきたい。

◆日本医学会医学用語管理委員会

本委員会の主な業務は、「日本医学会医学用語辞典」のweb掲載の更新作業、厚生労働省「標準傷病名」の改訂作業への協力である。

『日本医学会医学用語辞典 英和第3版』は本会のホームページに掲載しており、用語の検索ができる他、修正、要望も受け付けている。また、学会からの用語に対する要望は速やかにwebで反映している。『日本医学会医学用語辞典 英和第3版』を各分科会機関誌の執筆要項にご利用いただきたい。

◆第8回日本医学会公開フォーラム

「メタボリックシンドローム—糖尿病—」をテーマに、2009年6月20日(土)13:00~16:00、日本医師会大講堂において開催(組織委員長:春日雅人国立国際医療センター研究所長)。市民を対象とした公開フォーラムであり、参加希望者は、郵便はがき、FAX、本会ホームページ (<http://jams.med.or.jp/>) のいずれかの方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。終了後、ホームページにて映像配信する。

1. メタボリックシンドロームと糖尿病/春日雅人(国立国際医療センター研究所長)、2. 糖尿病の予防/田嶋尚子(東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科)、3. 糖尿病の薬物治療—主にメタボリックシンドロームを合併する方々へ/難波光義(兵庫医科大学内科学・糖尿病科)、4. 糖尿病性腎症の予防/榎野博史(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科学)、5. 糖尿病における動脈硬化の予防/渥美義仁(東京都済生会中央病院副院長)。

◆第136回日本医学会シンポジウム

「がんの集学的治療の最前線—食道がん・胃癌を中心に—」をテーマに、2009年7月2日(木)13:00~17:00に、日本医師会館大講堂において開催。組織委員は、前原喜彦、山田章吾、相羽恵介の各氏。参加希望者は、上記フォーラムと同じ方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。終了後、ホームページにて映像配信する。

序論/前原喜彦(九州大学消化器・総合外科学)、1. 食道がん・胃癌に対する内視鏡手術の進歩/宇山一朗(藤田保健衛生大学・上部消化管外科)、2. 進行食道がん・胃癌に対する外科手術と補助療法/馬場秀夫(熊本大学・消化器外科学)、3. 食道表在がん・胃癌に対する放射線療法の現状と将来展望/根本建二(山形大学・がん臨床センター)、4. 局所進行食道がんに対する化学放射線療法の進歩/西村恭昌(近畿大学・放射線腫瘍学)、5. 胃癌薬物療法の新展開:分子標的治療薬を中心に/大津 敦(国立がんセンター東病院・臨床開発センター)、6. 進行胃癌に対する標準的薬療法の確立を目指して/小泉和二郎(北里大学・消化器内科学)。

◆医学賞・医学研究助成費

平成21年度日本医師会医学賞・医学研究助成費の推薦依頼を日本医師会雑誌の5月号に公示。要項は本会にお問い合わせいただきたい。推薦期間は、5月15日~7月3日。推薦は、日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または医学部長・医科大学長、大学附属病院長(本院)、関係機関長、都道府県医師会長により各部門1名以内。申請書は、公示日より日本医師会ホームページ (<http://www.med.or.jp/>) からダウンロードできる。

◆日本医学会への加盟申請

平成21年度の日本医学会への新規加盟申請は、5月15日に公示(日本医師会雑誌等)し、7月31日に締め切る。申請書は、公示日より本会ホームページからダウンロードできる。